木造用追加特記

25 追加特記（木造）

1 適用図書の追加

※ 公共建築木造工事標準仕様書 令和7年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（以下「木標仕」という。）について、次の○印を付けた章のうち、図面及び標仕に記載されていないものを運用する。

- ・1章 各章共通事項
- ・2章 仮設工事
- ・3章 土・地業・基礎工事
- ・4章 木造工事
- ・5章 軸組構法（壁構造系）工事
- ・6章 軸組構法（軸構造系）工事
- ・7章 枠組壁工法工事
- ・8章 丸太組構法工事
- ・9章 ＣＬＴパネル工法工事
- ・10章 木工事
- ・11章 防水工事
- ・12章 石工事
- ・13章 タイル工事
- ・14章 屋根及びとい工事
- ・15章 金属工事
- ・16章 左官工事
- ・17章 建具工事
- ・18章 塗装工事
- ・19章 内装工事
- ・20章 ユニット及びその他の工事
- ・21章 排水工事
- ・22章 舗装工事
- ・23章 植栽工事

4章 木造工事

1 材　料

・使用する材料は、図示及び特記による指定並びに木標仕各章の規定による。
・使用する材料は、図示及び特記による指定並びに木標仕各章の規定によるほか、材種のうち特記は、「県産材」を使用する。
・使用する材料は、図示及び特記による指定並びに市販品

合板、ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ及び各種ﾎﾞｰﾄﾞ類のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量又は放出量 (4.2.1)
（JIS、JAS規定品）
※☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・国土交通大臣等の認定品

製材 (4.2.2)
・目視等級区分構造用製材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	構造材の種類	等級	含水率	保存処理

・機械等級区分構造用製材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	等級	含水率	保存処理

・広葉樹製材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	等級	含水率	保存処理

・無等級材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	含水率	材面品質	保存処理

・下地用製材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	等級	含水率	保存処理

集成材
・構造用集成材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	強度等級	接着性能	材面品質	保存処理

・化粧ばり構造用集成柱（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	化粧薄板の厚さ	寸法	見付け材面
・芯材（ ）・化粧薄板（ ）			

枠組壁工法構造用製材

	使用箇所	樹種	寸法型式	長さ	備考
・甲種枠組材	・図示 ・				・乾燥 ・未乾燥
・乙種枠組材	・図示 ・				・乾燥 ・未乾燥

	使用箇所	樹種	MSR等級	長さ	寸法型式	備考
・MSR枠組材	・図示 ・					・乾燥 ・未乾燥

枠組壁工法構造用たて継ぎ材

	使用箇所	樹種	寸法型式	長さ
・たて枠用たて継ぎ材	・図示 ・			
・甲種たて継ぎ材	・図示 ・			
・乙種たて継ぎ材	・図示 ・			
・MSRたて継ぎ材	・図示 ・			

構造用単板積層材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	接着性能	曲げ性能	水平せん断区分	保存処理

丸太材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	末口径	含水率

木質接着成形軸材料、木質複合軸材料、木質断熱複合ﾊﾟﾈﾙ、木質接着複合ﾊﾟﾈﾙ （使用箇所 ・図示 ・ ）

形状	寸法	含水率

直交集成板（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	強度等級	種別	接着性能

構造用面材 (4.2.2)
・ｽﾃﾞｨﾌﾙﾃﾞｯﾄﾞｼﾝﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞMDF（使用箇所 ・図示 ・ ）

厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分

・構造用合板（使用箇所 ・図示 ・ ）

寸法	等級	単板の樹種	接着の種別	板面品質	曲げ性能	保存処理
			・特類 ・			

・化粧ばり構造用合板（使用箇所 ・図示 ・ ）

寸法	単板の樹種	接着の種別
		・特類 ・

・構造用パネル（使用箇所 ・図示 ・ ）
（寸法 ）（曲げ性能 ）

・パーティクルボード（使用箇所 ・図示 ・ ）

厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分

・ハードファイバーボード（使用箇所 ・図示 ・ ）

厚さ	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	油等処理

・硬質木片セメント板（使用箇所 ・図示 ・ ）
（厚さ ）
・構造用せっこうボード（・A種 ・B種）（使用箇所 ・図示 ・ ）
（厚さ ）
・せっこうボード （使用箇所 ・図示 ・ ）
（厚さ ）
・強化せっこうボード （使用箇所 ・図示 ・ ）
（厚さ ）
・せっこうラスボード （使用箇所 ・図示 ・ ）
（厚さ ）
・シージングボード （使用箇所 ・図示 ・ ）
（厚さ ）
・ラスシート （使用箇所 ・図示 ・ ）
（ラス目 ）（山高 ）（山ピッチ ）（質量 ）
・フレキシブル板 （使用箇所 ・図示 ・ ）
（厚さ ）
・火山性ガラス質複層板 （使用箇所 ・図示 ・ ）
（厚さ ）

2 接合金物 ・接合具等

接合金物 (4.2.7)
・直接雨にさらされる環境で使用する場合
※ｽﾃﾝﾚｽ製又は溶融亜鉛めっき鋼板製 ・
・（公財）日本住宅・木材技術ｾﾝﾀｰが規定するもの
表示金物（・Zマーク ・Cマーク ・Mマーク ・Xマーク ・Dマーク ・Sマーク）
・上記以外の金物
寸 法 ・図示 ・
形 状 ・図示 ・
材料種類 ・図示 ・
表面処理 ・溶融亜鉛めっき ・電気亜鉛めっき ・錆止め塗装
・防腐・防蟻処理剤により腐食の起きない表面処理

接合具等 (4.2.7)
釘、木ねじ、木質構造用ねじ等

・JIS A 5508に基づく釘

種類（記号）	JISに基づく種類
・めっき鉄丸くぎ	・ＮＺ
・めっき太め鉄丸くぎ	・ＣＮＺ
・溶融亜鉛めっき太め鉄丸くぎ	・ＺＮ
・ステンレス鋼くぎ	・Ｓ
・せっこうボード用くぎ	・ＧＮ
・シージングボード用くぎ	・ＳＮ

・JIS A 5559に基づく木質構造用ねじ

材質	性能等	
※鉄製 ・ステンレス製	全塑性曲げモーメント	Ｎ・ｍ
	繰返し曲げ回数	回
	引張耐力	ｋＮ
	最大ねじり トルク	Ｎ・ｍ

・JIS A 5559に基づく木質構造用ねじの表面処理方法

・溶融亜鉛めっき種別	・Ａ種	・Ｂ種 ・Ｃ種
・電気亜鉛めっき種別	・Ｄ種	・Ｅ種 ・Ｆ種

ﾎﾞﾙﾄ、ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ、ﾅｯﾄ及び座金 (4.2.7)
・ﾎﾞﾙﾄ及びﾅｯﾄの材料、寸法等

規格番号 規格名称	・ボルト	・ナット
	・	・
種類	・	・
材料区分	・	・
強度区分	・	・
ねじの公差域クラス	・	・
仕上げの程度	・	・
ねじの呼び	・	・

・ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ（材質 寸法 ）
・座金 （材質 厚さ 寸法 形状 ）
・せん断応力を受けるﾎﾞﾙﾄの座金種別（ 種）
ラグスクリュー（形状： 寸法： 材質： ） (4.2.7)
ドリフトピン （材質： 径： 寸法： ） (4.2.7)
木栓及び木だぼ（樹種： 形状： 長さ： ） (4.2.7)
接着剤 (4.2.7)
・床鳴り防止用接着剤（接着剤の種類 ）
・接着剤による接合及び接着剤を併用した接合（接着剤の種類 ）
ジベル接合 (4.2.7)
・輪型ジベル接合、圧入型ジベル接合

施工部位	種類	材質・形状、寸法等
・	・	・
・	・	・

2 土壌の防蟻処理

薬 剤 ・ (4.3.3)
使 用 量 ・ (4.3.3)
適用範囲 ・図示 ・ (4.3.3)

3 防腐措置

・床下換気（基礎外周部）は次のいずれかによる。 (4.3.4)
・ねこ土台 ・換気孔
・小屋裏の換気方法は次のいずれかによる。（換気孔の大きさ ・図示 ・ ）
・両妻壁に換気孔（給排気両用）を設ける。 (4.3.4)
・軒裏に換気孔（給排気両用）を設ける。
・軒裏又は小屋裏の外壁に給気孔、妻壁に排気孔を設ける。（垂直距離で900mm以上離す）
・排気塔その他の器具を用いた排気孔
・軒裏又は小屋裏の外壁に給気孔、棟部に排気孔を設ける。

4 防火被覆・燃えしろ層

・防火被覆処理（使用箇所 ・図示 ・ ） (4.4.2)

材料	厚さ	目地等処理	接合金物の防火被覆処理	二次部材（貫通部、方法・金物）

留付け材種類	留付け間隔	下地材留付け長さ	端あき距離	接着剤使用

・燃えしろ層（使用箇所 ・図示 ・ ） (4.4.3)

厚さ	接合金物の防火被覆処理	二次部材（貫通部、方法・金物）

5 鋼材等の接合

・鋼材と木材の接合 (4.5.1)

接合部位（施工部位）	接合詳細	工法 適用の有無
		・有 ・無

5章 軸組構法（壁構造系）工事～6章 軸組構法（軸構造系）工事

1 材　料

木　　材　※木標仕５～６章各節及び次による。 (5.2.2)(5.2.3)(6.2.2)(6.2.3)
材料は、4.2.2【材料】による。

2 接合金物 ・接合具等

接合金物・接合具は、4.2.7【接合金物・接合具等】による。

3 ５章４節～９節及び６章４節～９節

材料・工法等
※図示及び木標仕５章又は６章の規定により、規定外のものは図示による
(5.4.1)～(5.9.10)(表5.4.1)～(表5.5.1)
(6.4.1)～(6.8. 7)(表6.4.1)～(表6.5.2)

9章 ＣＬＴﾊﾟﾈﾙ工法

1 材料

構造耐力上主要な部分にＣＬＴﾊﾟﾈﾙ工法を用いた建築物に適用する。 (9.1.1)
材料は、4.2.2【材料】による。
接合金物・接合具は、4.2.7【接合金物・接合具等】による。

2 接合金物 ・接合具等

3 木材の加工

孔あけ加工 (9.4.4)
・ﾎﾞﾙﾄの径に加える木部のﾎﾞﾙﾄ孔あけ加工の大きさ

ﾎﾞﾙﾄの径	ﾎﾞﾙﾄ径に加える大きさ（mm）
16未満	※1.0 ・
16以上	※2.0 ・

表面仕上げ (9.4.5)
・ＣＬＴパネルの見え掛り面の表面 （※ブレーナー加工仕上げ程度 ・サンダー等 ）

4 搬入及び建方

ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの設置等 (9.5.3)
・埋込み深さ
・埋込み位置の許容誤差 （Ａ種 ※±２mm ・ ）（Ｂ種 ※±５mm ・ ）
基礎天端均しﾓﾙﾀﾙの仕上げ (9.5.4)
・無収縮ﾓﾙﾀﾙの適用 （ ※有 ・無 ）
・無収縮ﾓﾙﾀﾙの厚さ （ ※図示 ・ ）
建方精度 (9.5.7)
・建て入れ直し後の許容値 （垂直、水平の誤差 ※1/1000以下 ・ ）
（床、壁の天端の平坦さ ※±３mm以下 ・ ）
接合金物の工法 (9.5.9)
・見え掛かり部に仕上げ材として構造材を使用する場合 （ ※図示 ・ ）
釘、木ねじ、木質構造用ねじ等の工法 (9.5.10)
・部位毎の釘、木ねじ及び木質構造用ねじの種類及び間隔 （ ※図示 ・ ）
各種ボルトの工法 (9.5.11)
・種類、径、本数、間隔、座金の大きさ （ ※図示 ・ ）
・見え掛かり部に仕上げ材として構造材を使用する場合 （ ※図示 ・ ）
ﾗｸﾞｽｸﾘｭｰの工法 (9.5.12)
・形状及び寸法 （ ※図示 ・ ）
・見え掛かり部に仕上げ材として構造材を使用する場合 （ ※図示 ・ ）
ﾄﾞﾘﾌﾄﾋﾟﾝの工法 (9.5.13)
・径 （ ※図示 ・ ）
・見え掛かり部に仕上げ材として構造材を使用する場合 （ ※図示 ・ ）

5 土台

土台 (9.6.1)
・樹種及び断面寸法 （ ※図示 ・ ）
・仕口及び継手の形状、位置 （ ※図示 ・ ）

6 小屋組等

ＣＬＴﾊﾟﾈﾙによる小屋組等 (9.7.1)
・樹種、断面寸法、構成、仕様 （ ※図示 ・ ）
・小屋組と壁組との緊結方法 （ ※図示 ・ ）

7 床版

ＣＬＴﾊﾟﾈﾙによる床版 (9.8.1)
・樹種、断面寸法、構成、仕様 （ ※図示 ・ ）
・床と壁組との緊結方法 （ ※図示 ・ ）

8 壁等

ＣＬＴﾊﾟﾈﾙによる壁等 (9.9.1)
・樹種、断面寸法、構成、仕様 （ ※図示 ・ ）
・ＣＬＴ壁ﾊﾟﾈﾙとＣＬＴ床ﾊﾟﾈﾙとの緊結方法 （ ※図示 ・ ）
・ＣＬＴ壁ﾊﾟﾈﾙの接合部の処理 （ ※図示 ・埋め木 ・ ）

10章 木工事

1 共通事項

内装及び外装の木下地、木造作及び木仕上げの工事に、適用する。 (10.1.1)
表面仕上げ (10.1.4)
見え掛り面の仕上げの程度
・機械加工

施工部位（適用部材）	仕上げの程度
・	※ブレーナー加工仕上げ ・超自動機械かんな掛け仕上げ ・サンダー掛け仕上げ ・
・	・

2 材　料

含水率
下地材 ※Ａ種（15%以下） ・Ｂ種（20%以下） (10.2.1)(表10.2.1)
造作材 ※Ａ種（15%以下） ・Ｂ種（18%以下）
木　　材 ※木標仕10章各節及び次による (10.2.1)
JAS 1083に基づく製材
・下地用製材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	等級（材面の品質） ・１級 ※２級	含水率 ※Ａ種 ・Ｂ種

・造作用製材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	板類における等級（材面の品質） 枠、額縁、敷居、かもい、かまちの類	左記以外	含水率
		※見え掛り面は、上小節、それ以外は小節以上 ・	※小節以上 ・並 ・	※Ａ種 ・Ｂ種 ・
		・	・	・

・広葉樹製材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	等級	板角類の別	含水率
		・特等 ※１等 ・２等	・板類 ・角類	※10%以下 ・
		・	・板類 ・角類	・

JAS 1083以外の製材（上記以外の製材）
・下地、造作及び仕上げに用いる製材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	材面の品質 ※Ａ種 ・Ｂ種 ・	防虫処理 ・	含水率 ※Ａ種 ・Ｂ種

造作用集成材等
・JAS 1152に基づく造作用集成材（使用箇所 ・図示 ・ ）

品名	樹種	寸法	見付け材面 品質	見付け材面 材面数
・仕上げ材 ・未仕上げ材 ・塗装			※１等 ・２等	・１面 ・２面 ・３面 ・４面
・			・	・

・JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集成材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	化粧薄板の厚さ	寸法	見付け材面	見付け材面品質
・芯材（ ）・化粧薄板（ ）				※１等

JAS 1152以外の造作用集成材（上記以外の集成材）
・造作用集成材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	見付け材面品質	含水率
			※15%以下 ・

・化粧ばり造作用集成材（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	化粧薄板の厚さ	寸法	見付け材面品質	含水率
・芯材（ ）・化粧薄板（ ）				※15%以下

JAS 0701に基づく造作用単板積層材
・造作用単板積層材（使用箇所 ・図示 ・ ）

寸法	表面の品質	防虫処理

JAS 0701以外の造作用単板積層材（上記以外の造作用単板積層材）
・造作用単板積層材（使用箇所 ・図示 ・ ）

寸法	表面の品質	防虫処理	含水率
			※14%以下

・JAS 3079に基づく直交集成板（使用箇所 ・図示 ・ ）

樹種	寸法	強度等級	種別	接着性能

3 合 板 等

下地用合板 (10.2.3)
・JAS 0233に基づく普通合板（使用箇所 ・図示 ・ ）

厚さ	接着の程度	板面品質	防虫処理
※5.5mm	※1類	広葉樹 ※２等以上 ・ 針葉樹 ※Ｃ-Ｄ以上 ・	

・JAS 0233に基づく構造用合板（使用箇所 ・図示 ・ ）

厚さ	接着の程度	単板の樹種	板面品質	等級	強度等級	防虫処理
※12mm	※1類		※Ｃ-Ｄ以上	※２級以上		

・JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板（使用箇所 ・図示 ・ ）

厚さ	接着の程度	単板の樹種	防虫処理
・ mm ・特類			

・JAS 0233に基づく天然木化粧合板（使用箇所 ・図示 ・ ）

厚さ	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種	防虫処理
・ mm ・	類		

・JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板（使用箇所 ・図示 ・ ）

厚さ	接着の程度	単板の樹種	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
・ mm ・	類			・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（ ） ・ﾌﾟﾘﾝﾄ（ ）・塗装（ ）	

・JIS A 5908に基づくパーティクルボード（使用箇所 ・図示 ・ ）

厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分
※15mm		※13ﾀｲﾌﾟ	※8または18ﾀｲﾌﾟ

・JAS 0360に基づく構造用パネル（使用箇所 ・図示 ・ ）
（厚さ ）
・JIS A 5905に基づくＭＤＦ（使用箇所 ・図示 ・ ）

厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分

4 接合具等

釘 (10.2.2)
※JIS A 5508基づき、屋外又は湿潤状態となる場所ではステンレス製
それ以外の場所では表面処理された鉄製
・その他（ ）
釘打ち工法
下張材への釘の打込み本数 ・ 本
斜めに釘を打込む場所 ・図示 ・
造作材化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち又は釘頭現し
木ねじ (10.2.2)
※JIS B 1112又はJIS B 1135に基づき、材質はｽﾃﾝﾚｽ製 ・表面処理された鉄製

5 防腐・防蟻 防虫処理等

防腐・防蟻処理 (10.3.1)
・屋外の仕上げ木材への保護塗料塗りは、標仕18章13節「木材保護塗料塗り（WP）」による。
・その他（ ）
防虫処理 (10.3.2)
※ラワン材及びなら 保存処理の性能区分K1の防虫処理
・その他（ ）

6 10章４節～６節

材料・工法等 (10.4.1)～(10.6.2)(表10.4.1)～(表10.6.2)
※図示及び木標仕10章の規定により、規定外のものは図示による

7 内部床回り

内部床下地 (10.2.1)(10.7.1)
下地用床板は次による
・木造特記「10章木工事 ２材料」による構造用合板（厚さ ※12mm ・ ）
・木造特記「10章木工事 ２材料」によるﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ（厚さ ※15mm ・ ）
強度及び接着剤による区分 ※13ﾀｲﾌﾟ又は13MﾀｲﾌﾟMR
水平剛性を確保する構造用合板の上に、二重張り用合板を設ける場合
・木造特記「10章木工事 ２材料」による普通合板 （厚さ ・ ）
内部床板張り (10.7.2)
床板に使用する製材
（樹種 ）（寸法 ）（厚さ ）
上がりがまち (10.7.3)
上がりがまち材
（樹種 ）（寸法 ）（厚さ ）

8 10章８節～10節

材料・工法等
※図示及び木標仕10章の規定により、規定外のものは図示による
(10.8.1)～(10.10.7)(表10.8.1)～(表10.10.9)

11章 防水工事

1 ＦＲＰ系塗膜防水

施工箇所 ・図示 ・ (11.1.1)～(11.2.5)
ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ ・FRP系塗膜防水用ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ ・錆鉄製

14章 屋根及びとい工事

1 スレート葺き

材　料 (14.6.2)

種　類	・平形屋根用スレート ・波形屋根用スレート
寸　法	
形　状	
役　物	
色　彩	

・雪止め（※図示 ・ ） (14.6.3)

2 ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ葺

材　料 (14.7.2)

品　質	
形　状	
色　調	
寸　法	

・雪止め（※図示 ・ ） (14.7.3)
・軒先及びけらば等に曲面を設ける。（※半径500mm以上 ・図示 ） (14.7.3)

番号に○印を付けたものを適用する。

変更		発注者	新潟県土木部都市局営繕課	○○○○設計事務所		工事名称	○○○○○○○○工事	図面番号	A-＊
						図面名称	木造工事追加特記仕様書 Ver.080401	縮尺	Free
								意匠	電気 構造 機械